

①地区名	武蔵野市
②研究主題	自然の事物・現象をもとに考える児童を育てるために

③研究の特色

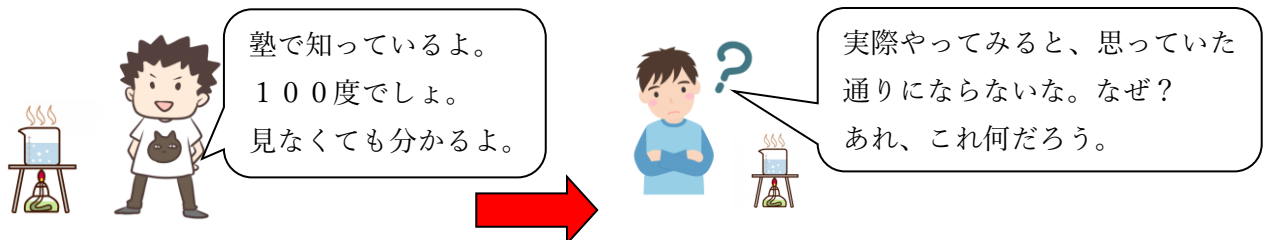
1. 研究主題について

一昨年度まで研究主題を「理科好きな児童を育てるために ～児童が科学的に探究するための教師の役割～」と設定し、研究をしてきた。実態調査で「理科が好き」と答える児童が多い武蔵野市の実態があった。しかし、「理科好き＝実験好き」もしくは、理科は実験活動をさせてくれるから面白いといった受動的な活動を楽しむだけになっている児童がいることが明らかとなった。そのような児童が問題解決の中で科学的な探究することで思考することが楽しめる児童を育てていきたいと考え、研究を重ねてきた成果を市内の研究発表会で発表した。

昨年度から研究内容を一新し、研究主題を「自然の事物・現象をもとに考える児童を育てるために」とし、塾や参考書などの机上の話だけで理解したつもりになっている児童が多い実態があり、そのような児童がもっと目の前の事物・現象から問題を見出したり、科学的に捉え探求したりすることができるように手立てを見出し、研究を進めている。

2. 目指す児童像について

武蔵野市の児童の実態として、学校の授業で学習する前にすでに知識をもっている児童が多い。しかし、そのような児童の中には「もう知っているから」と目の前の事物や起こっている現象について親身に考えない児童もいる。この「知っていると考えない児童」では、従来の知識詰め込み型で留まってしまふ。自然の事物・事象について児童がもともともっている知識とのズレや説明がうまくできないことに気付き、問題を見出し、「理科の見方・考え方」を働かせ問題解決をする過程を通して、理科の資質・能力が育てることを目的とする。そのとき、児童が主体的に自然の事物・現象と対話し自身の問題を見出したり、観察・実験を通して妥当な考えを見出したりすることができる児童が育てるためにも、目指す児童像を「自然の事物・現象をもとに考える児童」と設定した。



上記のように、目の前の事物・現象を吟味したり、「本当にそうなの？」という批判的な思考したりする児童を育成するために教師はどのような手立てをしたらよいか実践研究を重ねていく。

3. 今年度の活動 ※今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、研究授業を行わない。

10月14日(水) 第1回@井之頭小学校

- ・大日本図書株式会社編集部の方から、新しい教科書の特色の説明
- ・MESHブリッジによる市内のタブレットPCを用いたMESHのプログラミング体験

1月13日(水) 第2回@井之頭小学校

- ・2学期までの理科授業の実践報告